

ユーザーガイド

ADATA® SSD TOOLBOX



(バージョン 3.0)

改訂履歴

日付	改訂	説明
2014/1/28	1.0	初版
2021/2/01	2.0	UI再設計
2022/8/31	3.0	• 新機能を追加（ベンチマーク/CloneDrive） • 新しいOSサポートを追加 • 新しいUIバージョンに合わせて一部のコピーを調整

目次

概要.....	4
始めに.....	4
システム要件	4
SSDツールボックスを起動する.....	5
ドライブ情報画面	5
1: ドライブを選択	6
2: ドライブダッシュボード	6
3: S.M.A.R.T.ボタン	6
4: ドライブ詳細ボタン	6
診断スキャン	7
1: クイック診断.....	7
2: フル診断	7
ユーティリティ	8
1: セキュリティ消去	8
2: ファームウェア更新	9
3: ツールボックスのアップグレード.....	9
4: ログのエクスポート	9
システムの最適化	10
1: SSDの最適化.....	10
2: OSの最適化	10
システム情報	11
ベンチマーク	12
ドライブのクローン	13

Step 1.	ソースドライブを選択.....	14
Step 2.	ターゲット先ドライブを選択.....	15
Step 3.	クローンするボリューム/データを選択.....	16
Step 4.	確認.....	17
Step 5.	クローン化	18

Q&A.....	19
---------------------	-----------

概要

始めに

ADATA SSDツールボックスは、ディスク情報を取得したり、ディスクの設定を変更できる使いやすいGUIです。SSDのパフォーマンスや耐久性を向上させることもできます。

ご注意

- *ADATA ツールボックスは、ADATA SSD 製品の専用ツールです。*
- *ファームウェアのアップデートやSSDの消去を行う前には、データをバックアップしてください。*
- *状況によっては、ドライブが検出されない場合があります。例えば、BIOS セットアップで「ホットプラグが無効になっている場合などです。*
- *ドライブがADATA製品でない場合、一部の機能はサポートされません。*

システム要件

- Windows 7/ 8.1/ 10/ 11 のオペレーティングシステムをサポートします。
- 本プログラムを実行するには、最低10MBの空き容量が必要です。

SSDツールボックスを起動する

ADATA SSDツールボックスは、ADATAの公式ホームページからダウンロードできます。ファイルを解凍し、「SSDTool.exe」をダブルクリックして起動します。

すべての機能はサブ画面に分類されています。サブ画面には、ドライブ情報、診断スキャン、ユーティリティ、システム最適化、システム情報、ベンチマーク、CloneDriveの7種類があります。ADATA SSDツールボックスを起動した時、メイン画面にはドライブ情報画面が自動的に表示されます。

ドライブ情報画面

この画面では、選択したドライブの詳細情報を確認できます。

The screenshot displays the ADATA SSD ToolBox application window. On the left is a sidebar with navigation buttons: 'ドライブ情報' (Drive Info), '診断' (Diagnosis), 'ユーティリティ' (Utility), 'システム最適化' (System Optimization), 'システム情報' (System Info), 'ベンチマーク' (Benchmark), and 'CloneDrive'. The main area shows two drive information panels. The top panel is for 'XPG GAMMIX S50 | PCIe Gen4 x4'. It features three circular gauges: 'ドライブの健全性' (Drive Health) at '正常' (Normal), '現在の温度' (Current Temperature) at '28 °C', and '残り寿命予測' (Remaining Life Prediction) at '100 %'. It also shows 'Used: 48.61 GB' and 'Free: 881.63 GB'. The bottom panel is for 'ADATA SU800 | USB 3.0'. It features similar gauges: 'ドライブの健全性' at '正常', '現在の温度' at '42 °C', and '残り寿命予測' at '100 %'. It shows 'Used: 100.91 MB' and 'Free: 238.18 GB'. Both panels include 'S.M.A.R.T.' and 'ドライブ詳細' (Drive Details) buttons. A red box labeled '1' highlights the drive selection dropdown at the top. A red box labeled '2' highlights the bottom drive panel. A red box labeled '3' highlights the 'S.M.A.R.T.' button, and a red box labeled '4' highlights the 'ドライブ詳細' button. A vertical banner on the right side of the window reads 'BUILD TO CREATE'.

Drive	Model	Interface	Health	Temperature	Life Prediction	Used Space	Free Space
1	XPG GAMMIX S50	PCIe Gen4 x4	正常	28 °C	100 %	48.61 GB	881.63 GB
2	ADATA SU800	USB 3.0	正常	42 °C	100 %	100.91 MB	238.18 GB

1. ドライブを選択

ドロップダウンリストから任意のSSDを選択します。選択に応じてドライブダッシュボードが表示されます。また、右側のスクロールバーを使用することで、インストールされているすべてのドライブのダッシュボードの間を移動することができます。

2. ドライブダッシュボード

ドライブダッシュボードには、ドライブの健全性、温度、残りの寿命、モデル、ファームウェアバージョン、シリアル番号、容量、およびTBW*などの情報が表示されます。(モジュールの中には、TBW（書き込まれた合計バイト数）機能をサポートしていないものもあります。）
覧の左側にある青いバーは、現在選択されているドライブを示しています。

*TBW：書き込まれた合計バイト数

3. S.M.A.R.T.ボタン

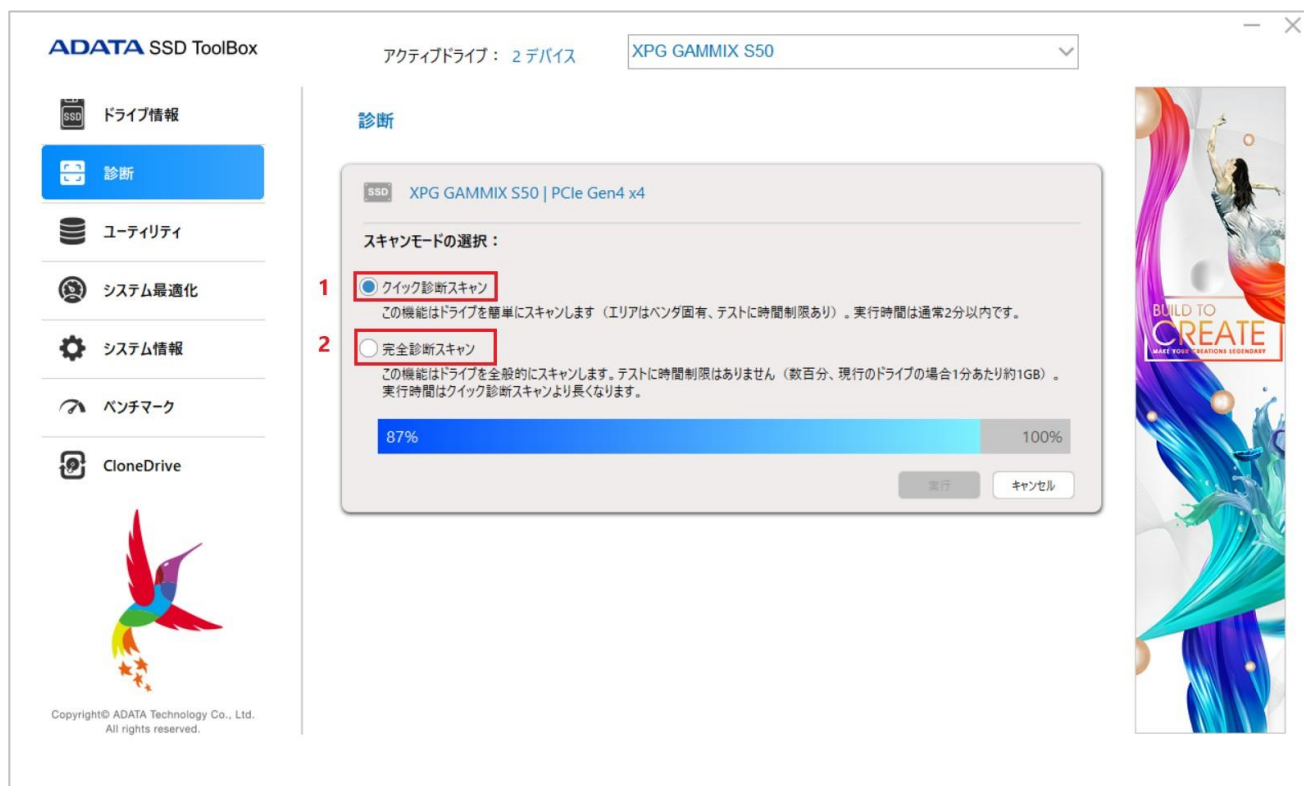
「S.M.A.R.T.」ボタンをクリックするとS.M.A.R.T.テーブルが表示され、選択したドライブの自己監視、分析、および報告技術の属性を確認できます。SSDブランドによっては、すべてのS.M.A.R.T. 属性がサポートされていない場合があります。

4. ドライブ詳細ボタン

「ドライブ詳細」ボタンをクリックすると、ドライブに関する詳細な技術情報を確認することができます。他のADATA製品を使用すると、他の値が表示されます。

診断スキャン

2つの診断スキャンオプションから選べます。



1. クイック診断

このオプションでは、選択したドライブの空き容量に対して基本的なテストを実施します。数分ほどかかります。

2. フル診断

このオプションでは、選択したドライブのすべての使用済み領域に対して読み取りテストを実行し、選択したドライブのすべての空き領域に対して書き込みテストを実施します。

ユーティリティ

ユーティリティ画面には、セキュリティ消去、ファームウェア更新、ツールボックスのアップグレード、ログのエクスポートなど、複数のサービスが表示されます。



1. セキュリティ消去

「セキュリティ消去」では、選択したSSD上のすべてのデータが永久消去され、データは復元できなくなります。この機能は、ブートドライブやパーティションがあるドライブでは実行できません。

ADATA SSDがセキュリティロックされている場合にセキュリティ消去のロックを解除する場合は、サードパーティツールを使用してロックを解除してください。

ロック解除用のパスワード：ADATA

ご注意

- 「セキュリティ消去」を実行する前に、すべてのパーティションを削除してください。
- セキュリティ消去の実行中は、SSDを取り外さないでください。取り外した場合、SSDがセキュリティロック状態になります。
- この操作を行うと、ドライブ上のすべてのデータが削除され、ドライブが工場出荷時の状態に復元されます。
- 「セキュリティ消去」を実行すると、ドライブの寿命が短くなります。この機能は必要な場合にのみ使用してください。

2. ファームウェア更新

該当するSSDファームウェアのダウンロードページに直接リンクされており、最新のFWバージョンをダウンロードすることができます。

3. ツールボックスのアップグレード

CHECK UPDATE（アップデートの確認）ボタンをクリックすると、本ソフトウェアの最新バージョンがダウンロードされます。

4. ログのエクスポート

エクスポートボタンをクリックすると、システム情報、識別テーブル、およびS.M.A.R.Tがダウンロードされます。テキストログとしてのテーブル

システムの最適化

選択したSSDを最適化する方法には2つあります。**SSDの最適化**と
OSの最適化です。



1. SSDの最適化

SSDの最適化では、選択したドライブの空き領域に対するトリムサービスを提供します。

*SSDの最適化は週に1度実行することをお勧めします。

2. OSの最適化

スタンダード– 基本的なOS最適化に向けて、スーパーフェッチ、プリフェッチ、自動デフラグなどの一部の設定が変更されます。

アドバンスド - 高度なOSに最適化に向けて、ハイバネーション、NTFSメモリ使用量、大規模システムキャッシュ、スーパーフェッチ、プリフェッチ、メモリ内のシステムファイルなどの一部の設定が変更されます。

システム情報

現在のシステム情報、公式ヘルプへのリンク、ユーザーマニュアルのダウンロード（SSDツールボックス）、SSD製品の登録が表示されます。

ADATA SSD Toolbox

アクティブドライブ: 2 デバイス XPG GAMMIX S50

システム情報

現在のバージョン	5.00.16
OS:	Microsoft Windows 10 家庭版 x64 version 21H1, Build 19043
CPU:	11th Gen Intel(R) Core(TM) i7-1165G7 @ 2.80GHz
使用可能RAM容量:	16005 MB
ベースボードモデル:	
ベースボードメーカー:	Intel Corporation
BIOSバージョン:	BCTGL357.0048.2020.1118.2111

ヘルプ
問題を解決し、トラブルシューティングする方法をご覧ください。
GO

ユーザーマニュアル
詳細な操作ガイドブックをダウンロードしてください。
GO

登録リンク
ADATA SSDをご登録いただくと、無料ソフトウェアのダウンロードや詳細なサポートなどのすべてにアクセスできます。
GO

BUILD TO
CREATE
MAKE YOUR CREATIONS LEGENDARY

Copyright© ADATA Technology Co., Ltd.
All rights reserved.

ベンチマーク

ベンチマーク機能を使用すると、ADATA製SSDに読み込みおよび書き込みテストを実施することができます。右にあるStart（開始）ボタンを押して、テストが完了するまで数秒間待機します。



- 1: テストするドライブを選択します
- 2: テストを開始します
- 3: 進捗状況が表示されます
- 4: SSDに実施した性能テストの結果

ご注意

- テスト結果は参考値です。
- 性能は、使用するマザーボード、CPU、M.2スロットによって異なる場合があります。
- SSDの速度は、公式記載されているソフトウェアとプラットフォームを使用して実施されたテストに基づくものです。

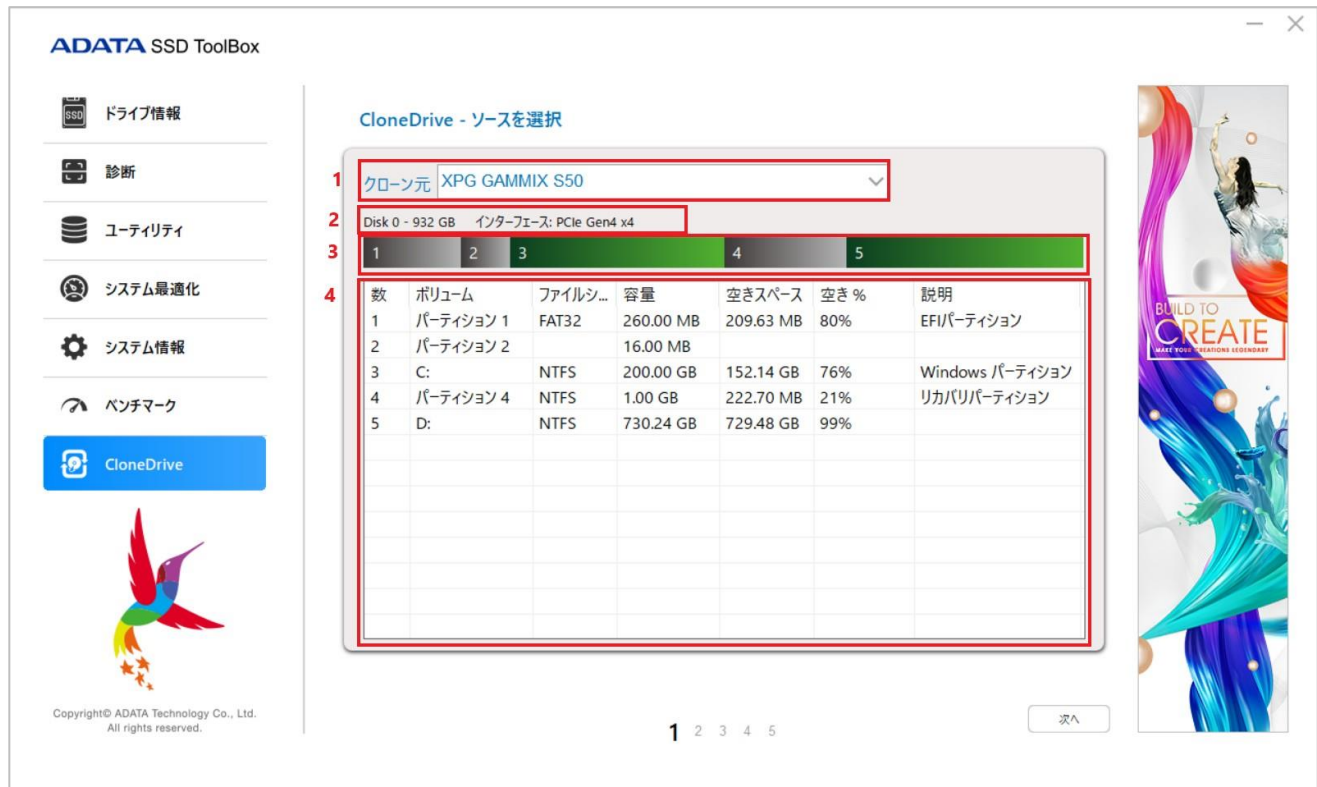
ドライブのクローン

「ドライブのクローン」機能を使用することで、ローカルドライブ内の異なるパーティションにあるデータを、必要に応じて他のドライブに同期してバックアップすることができます。

ご注意

- ソース元のドライブは非ADATA製品でもかまいませんが、ターゲット先のドライブはADATA製でなければ、機能を開始できません。
- SSDにクローンすると、4Kアライメントが自動的に行われます。ディスククローニング後の転送効率に影響を与えることはありません。
- クローンの完了後、OSを再インストールすることなくスムーズに起動するためには、まずソース元のドライブを取り外してから、ターゲット先のハードディスクを接続する必要があります。
- ソース元ドライブとターゲット先ドライブを同時起動に使用することはできません。同時に起動された場合、システムが解釈できなくなります。このため、ソース元ドライブを元のホストで使用するには、まずは別のホストに移動させてブートボリュームを削除する必要があります。

Step1. ソースドライブを選択



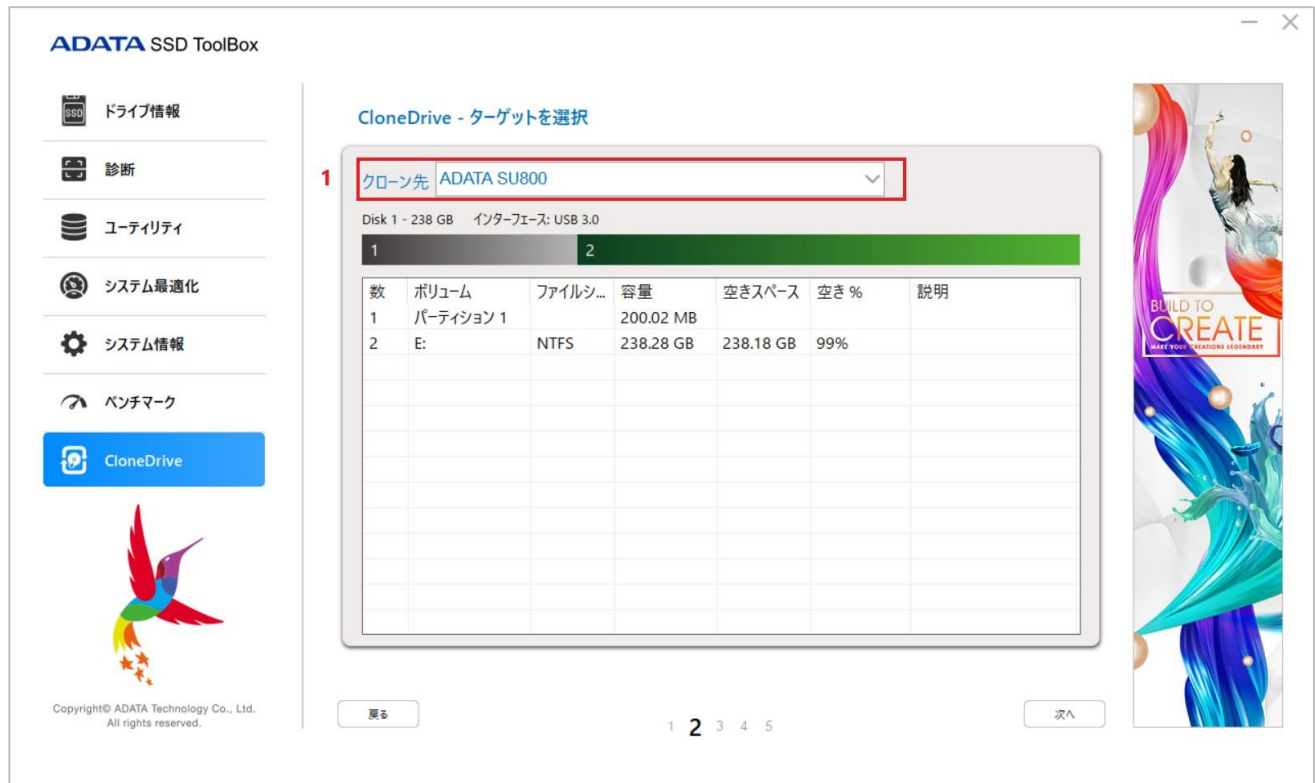
1: データのソース元ドライブ

2: ディスク番号、合計容量、伝送インターフェース

3: パーティション容量に対する割合

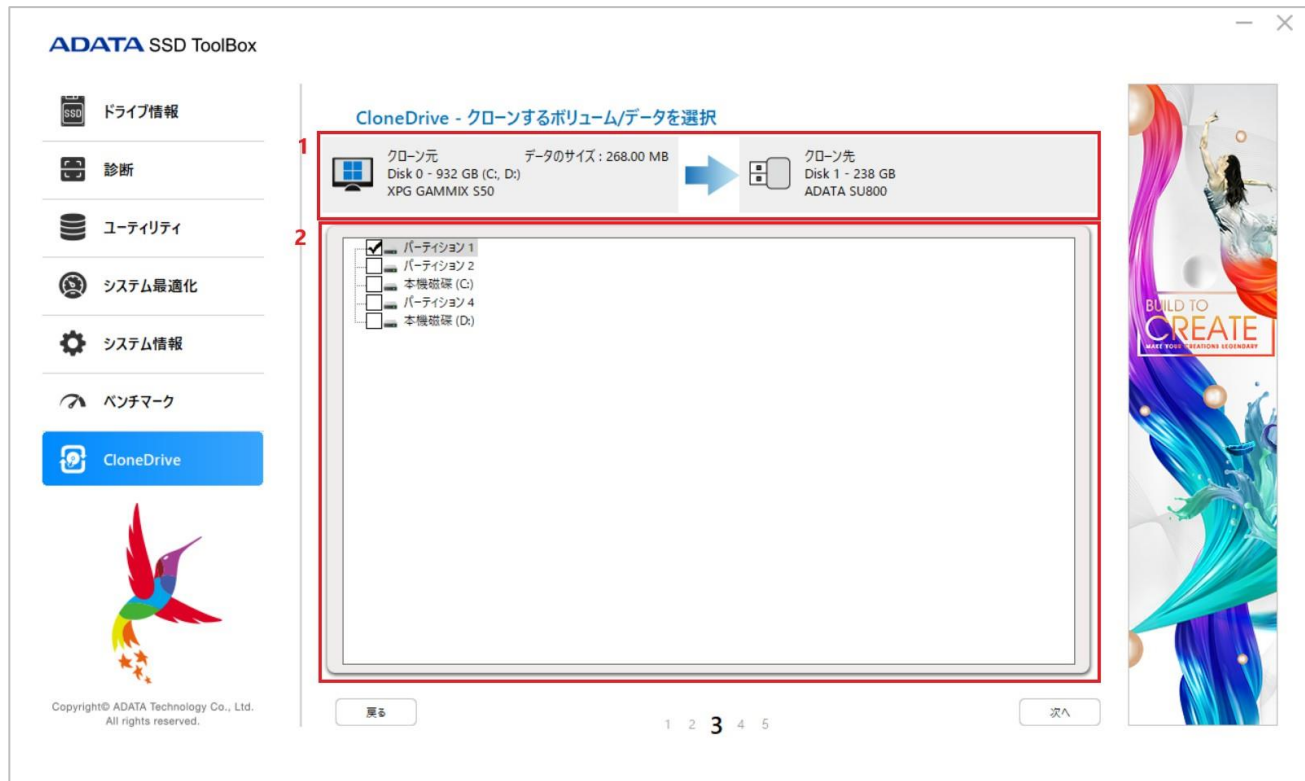
4: パーティションの詳細

Step2. ターゲット先ドライブを選択



1: データをバックアップするターゲット先ドライブ

Step3. クローンするボリューム/データを選択



1: データのソース元ドライブとターゲット先ドライブに関する情報

2: クローンするパーティションを選択

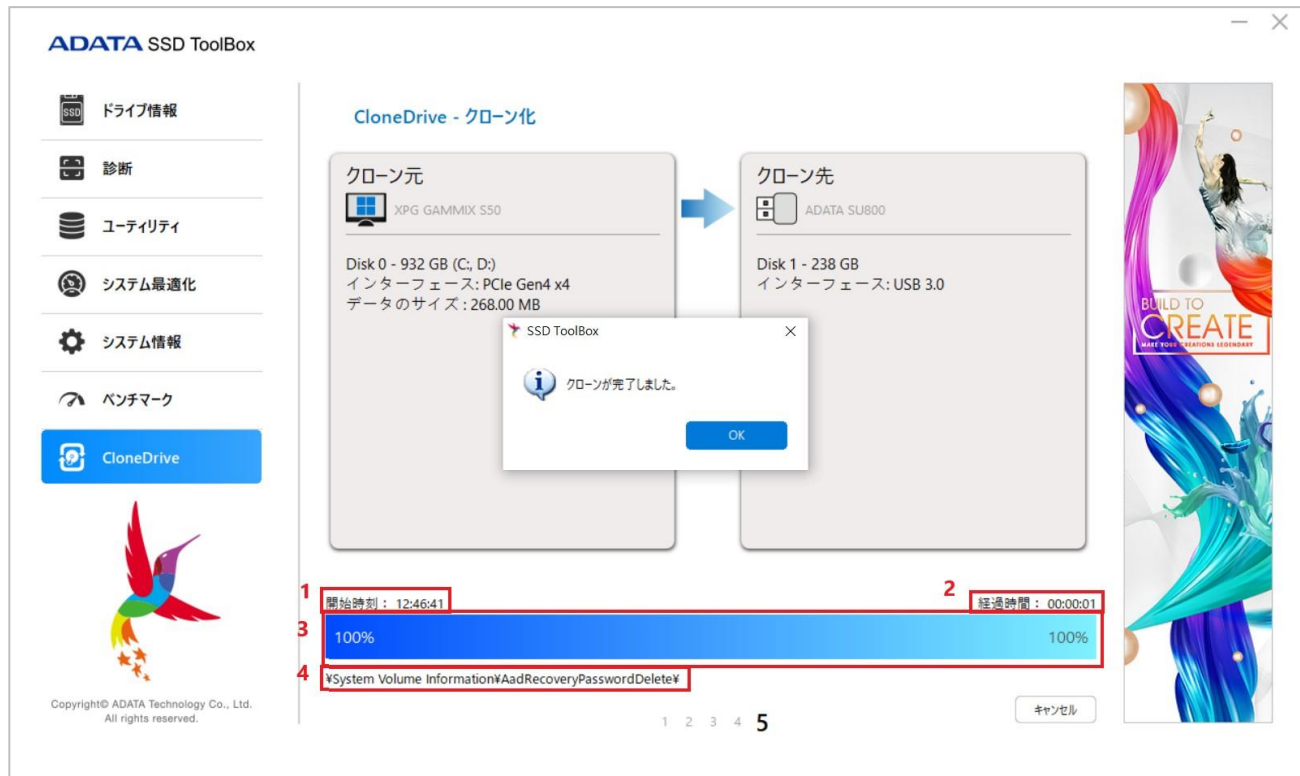
Step4. 確認



1: 「クローンを開始」を押してバックアップを実行

2: 注意の警告

Step5. クローン化



Q & A

ツールボックスの使用中に問題が発生した場合は、当社のサービスセンター（[）までお問い合わせください](#)